

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 2日

下関市長 殿

提出者

住 所 山口県下関市長府港町13番1号

氏 名 丸ーステンレス鋼管株式会社

常務取締役 廣田 晃一

電話番号 083-246-3781

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	丸ーステンレス鋼管株式会社 下関本社
事業場の所在地	山口県下関市長府港町13番1号
計画期間	令和5年(2023年)4月1日~令和6年(2024年)3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	鋼管製造業
②事業の規模	売上高 30,534百万円
③従業員数	365人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1を参照

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">環境総括 責任者</div>	①環境方針を策定する。 ②環境マニュアルを決裁する。 ③環境管理責任者を指名する。 ④EMSを見直し、その結果を表明し改善を指示する。 ⑤環境防災管理委員会を主査する。 ⑥全社環境目標を決裁する。 ⑦香しい環境側面を承認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">環境管理 委員会</div>	①経営者を主査とし、環境管理責任者、各部門長、室長で構成し、原則月1回開催する。 ②社内コミュニケーションの場として、EMSに関する情報を伝達する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">環境管理 責任者</div>	①経営者の指名を受け、EMSを確立し、実施、維持し、改善する。 ②環境マニュアルを照査する。 ③経営者の見直しの際に必要な情報・実績を報告し見直し結果に基づく該当部署に改訂を指示する。 ④香しい環境側面を照査する。 ⑤社)環境目標を照査する。 ⑥緊急事態の特定結果を承認する。 ⑦内部監査計画の作成を指示し、計画内容及び結果を承認し経営者へ報告する。 ⑧外部利害関係者への対応事項を承認する。 ⑨各室に「環境側面調査表」及び「環境影響評価表」の作成を指示する。 ⑩環境目標を提示し各部門・各室の環境目標作成を指示する。 ⑪外部コミュニケーションの必要事項への対応と結果を環境管理委員会に伝達する。 ⑫各室の不適合及びその是正並びに予防処置を承認し、見直しを要求する。 ⑬各部長・室長への教育を実施する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">環境管理 専任者</div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">各部 各室</div>	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1-3を参照	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)  1. 酸洗場における酸消費量削減による汚泥排出量削減 2. 排水処理における中和処理用薬品適正化による汚泥排出量削減 3. 有償物としての売却量増加によるガラス屑・廃油・廃プラスチックの排出量削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1-1を参照	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 1. 酸洗場における酸消費量削減による汚泥排出量削減(継続) 2. 排水処理における中和処理用薬品適正化による汚泥排出量削減(継続) 3. 有償物としての売却量増加によるガラス屑・廃油・廃プラスチックの排出量削減(継続) ※その他、生産量増加予想に伴い、発生量増と想定		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・工程ごとに発生したものをそれぞれ専用置場に保管する。 ・有償物及び再生利用可能な廃棄物等が新たに発生した場合、保管方法を明確にし、保管場所を新たに設ける。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  ・上記と同様

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施の予定は無い。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1-3を参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・排水処理にて現在まで処理困難であった泥状汚泥の処理可能量増加 (※その他、生産量増加予想に伴い、発生量増と想定)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1-1を参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・排水処理にて処理困難な泥状汚泥の処理可能量増加(継続) ※その他、生産量増加予想に伴い、発生量増と想定		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施の予定は無い。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1-1を参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・再生利用業者の調査及び新規契約による再生量増加		

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	別紙1-1を参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>1. 再生利用業者の調査及び新規契約による再生量増加(継続)</p> <p>2. 新規処分業者との契約において優良認定業者の認定有無を確認し 極力増量していく。</p> <p>※その他、生産量増加予想に伴い、発生量増と想定</p>			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(令和5年度計画)

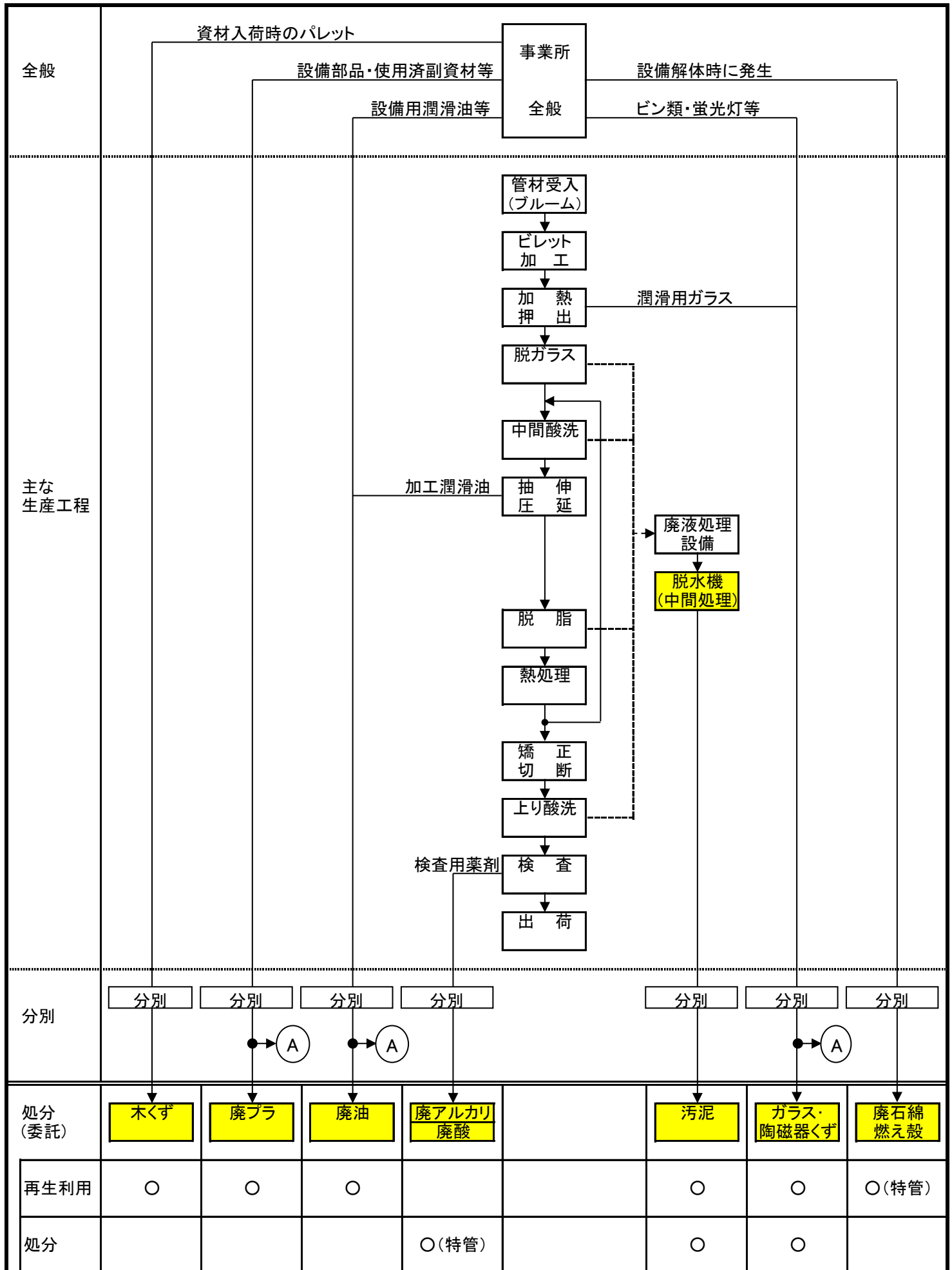
別紙1-1

多量排出事業者 名称	丸ーステンレス鋼管株式会社 下関本社	所在地(市町名)	下関市	事業の種類	鋼管製造業2234
------------	--------------------	----------	-----	-------	-----------

(単位:トン)

区分	種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
産業廃棄物	燃え殻																				
	汚泥	4,374	4,155					2,406	2,286			1,967	1,869	698	664	661	628				
	廃油	216	209									216	209	216	209	216	209				
	廃酸																				
	廃アルカリ																				
	廃プラスチック類	67	70									67	70	35	37	16	17				
	紙くず																				
	木くず	3	3									3	3								
	繊維くず																				
	動植物性残さ																				
	動物系固形不要物																				
	ゴムくず																				
	金属くず																				
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	50	52									50	52	48	50	43	46				
	鋳さい																				
	がれき類																				
	動物のふん尿																				
動物の死体																					
ばいじん																					
13号廃棄物																					
計 (A)		4,709	4,490	0	0	0	0	2,406	2,286	0	0	2,303	2,204	997	960	937	900	0	0	0	0

別紙1 産業廃棄物の一連の処理の工程



Ⓐ 有償物として売却



様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5 年 6 月 2 日

下関市長 殿

提出者

住 所 下関市長府港町13番1号

氏 名 丸ーステンレス鋼管株式会社

常務取締役 廣田 晃一

電話番号 083-246-3781

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称 丸ーステンレス鋼管株式会社 下関本社

事業場の所在地 山口県下関市長府港町13番1号

事業の種類 鋼管製造業 2234

産業廃棄物処理計画における計画期間 令和4年(2022年)4月1日～令和5年(2023年)3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	4920 t	全処理委託量	2404 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1071 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	991 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2516 t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

(日本産業規格 A列4番)

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画実施状況報告書(令和4年度実績)

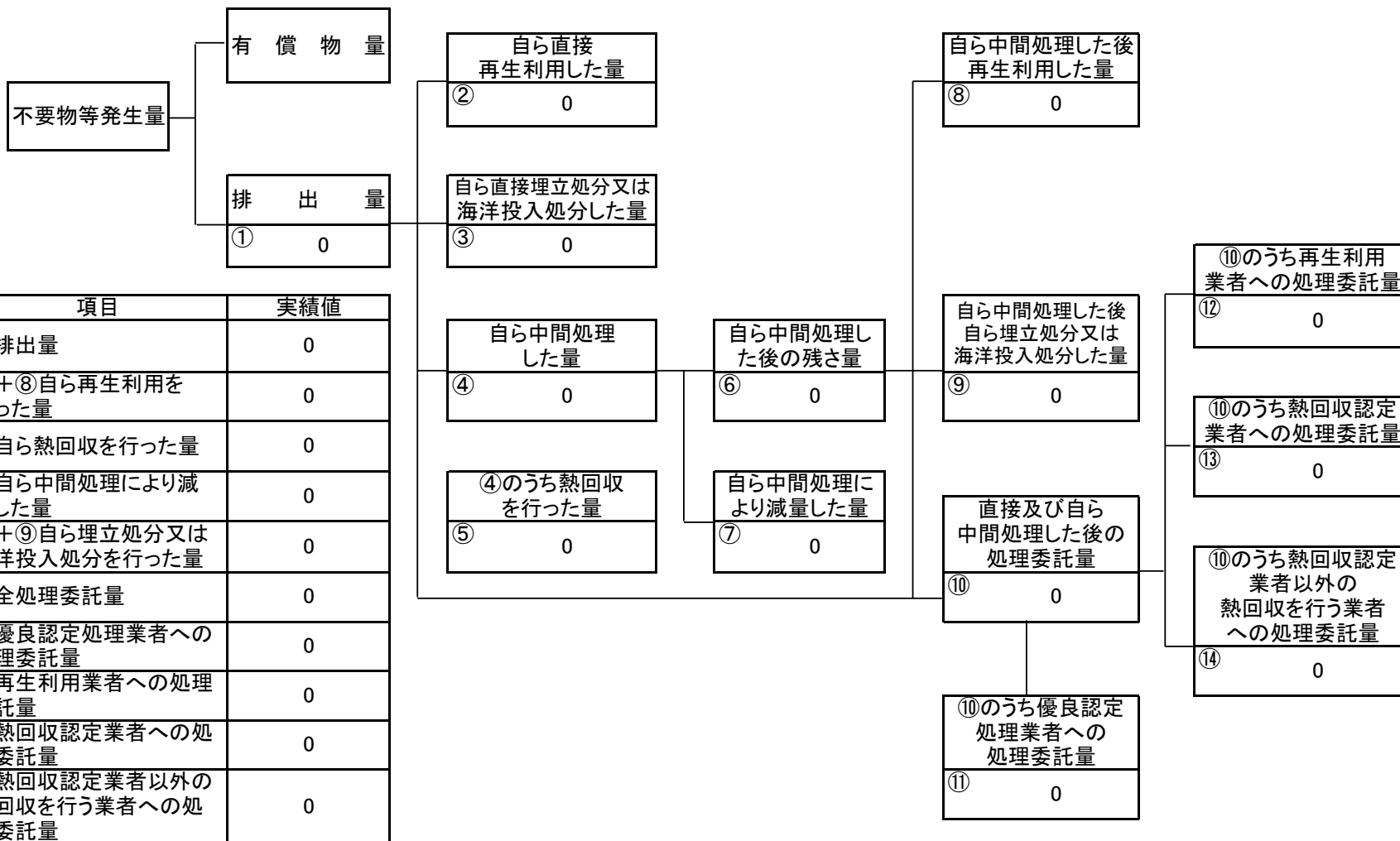
多量排出事業者 名称	丸ーステンレス鋼管株式会社 下関本社	所在地(市町名)	下関市	事業の種類	鋼管製造業 2234
------------	--------------------	----------	-----	-------	------------

別紙1-3

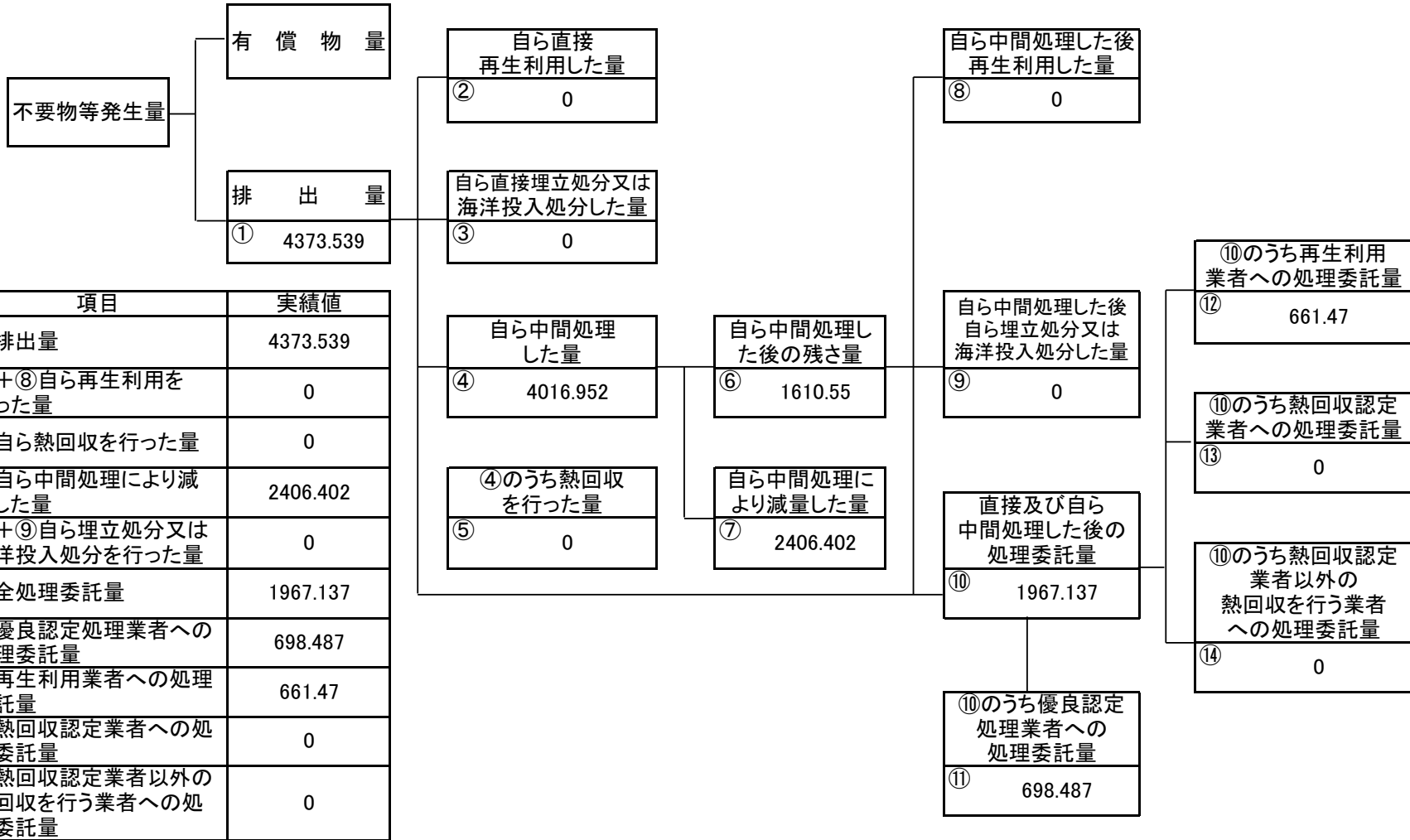
区分	種類	計 画 の 実 施 状 況										⑩ ⑪のうち再生利用業者への処理委託量	⑫のうち中間処理業者への処理委託量		⑬のうち最終処分処理業者への処理委託量		⑭のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑮のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑯のうち熱回収業者以外への処理委託量	⑰のうち熱回収を行う業者への処理委託量			
		① 排出量	② 自ら直接再生利用した量	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④ 自ら中間処理した量	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	⑧ 自ら中間処理した後、再生利用した量	⑨ 自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩ 直接委託及び自ら中間処理した後の処理委託量		処分委託先が山口県内	処分委託先が山口県外	処分委託先が山口県内	処分委託先が山口県外					処分委託先が山口県内	処分委託先が山口県外	
産 業 廃 棄 物	燃え殻									0	0					0							
	汚泥	4,374			4,017		1,611	2,406		1,967	661		661	42	42	1,264	1,264		698				
	廃油	216								216	216		216	0	0	0				216			
	炭酸									0	0		0	0	0	0							
	炭アルカリ									0	0		0	0	0	0							
	炭プラスチック類	67								67	16	16		51	18	32	0				35		
	紙くず									0	0			0		0							
	木くず	3								3	0			3		3	0						
	繊維くず									0	0			0		0							
	動植物性残さ									0	0			0		0							
	動物系固形不要物									0	0			0		0							
	ゴムくず									0	0			0		0							
	金属くず									0	0			0		0							
ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	50								50	43	43		4	3	1	2	2		48				
錆さい									0	0			0		0								
がれき類									0	0			0		0								
動物のふん尿									0	0			0		0								
動物の死体									0	0			0		0								
ばいじん									0	0			0		0								
13号廃棄物									0	0			0		0								
計 (A)		4,709	0	0	4,017	0	1,611	2,406	0	0	2,303	937	60	877	100	22	78	1,266	1,266	0	997	0	0

実 績									
①排出量	②+④自ら再生利用を行った量	⑤自ら熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量	③+⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑧安全処理委託量	⑩優良認定処理業者への処理委託量	⑪再生利用業者への処理委託量	⑫熱回収認定業者への処理委託量	⑬熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4,374	0	0	2,406	0	1,967	698	661	0	0
216	0	0	0	0	216	216	216	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
67	0	0	0	0	67	35	16	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	3	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50	0	0	0	0	50	48	43	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4,709	0	0	2,406	0	2,303	997	937	0	0

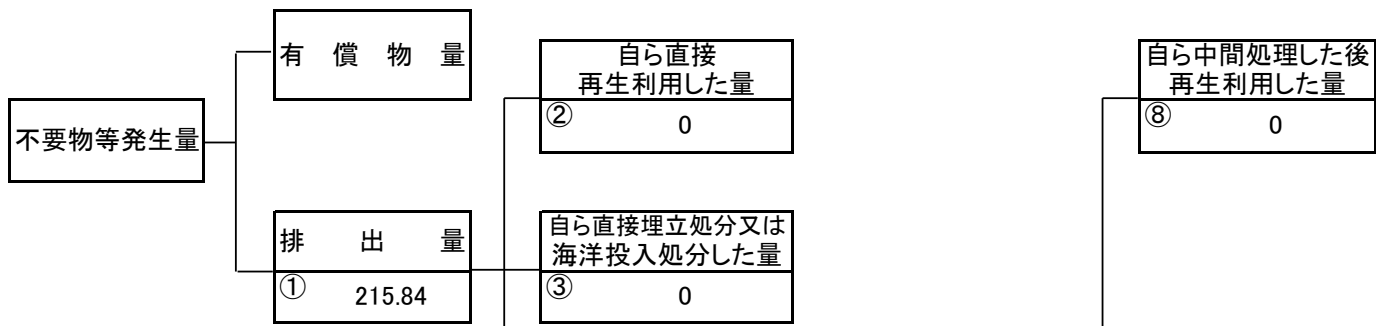
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 燃え殻)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 汚泥)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃油)

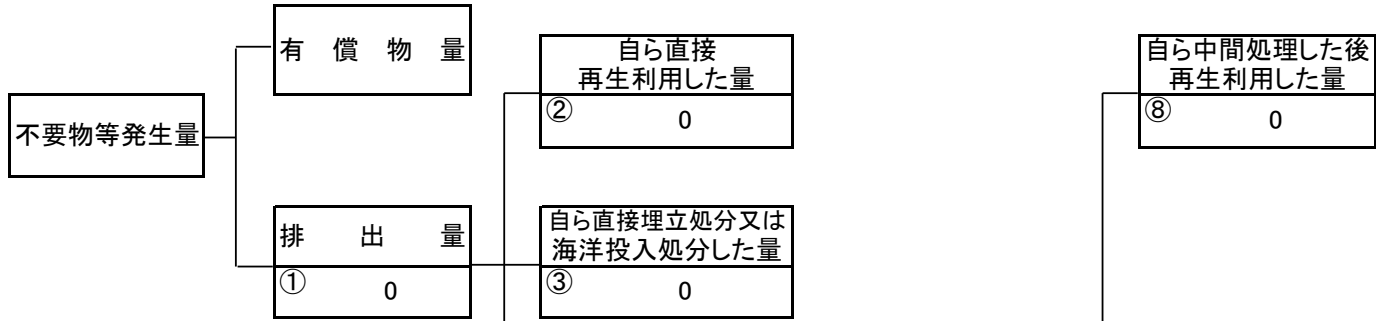


項目	実績値
①排出量	215.84
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	215.84
⑪優良認定処理業者への処理委託量	215.84
⑫再生利用業者への処理委託量	215.65
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫ 215.65
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬ 0
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭ 0

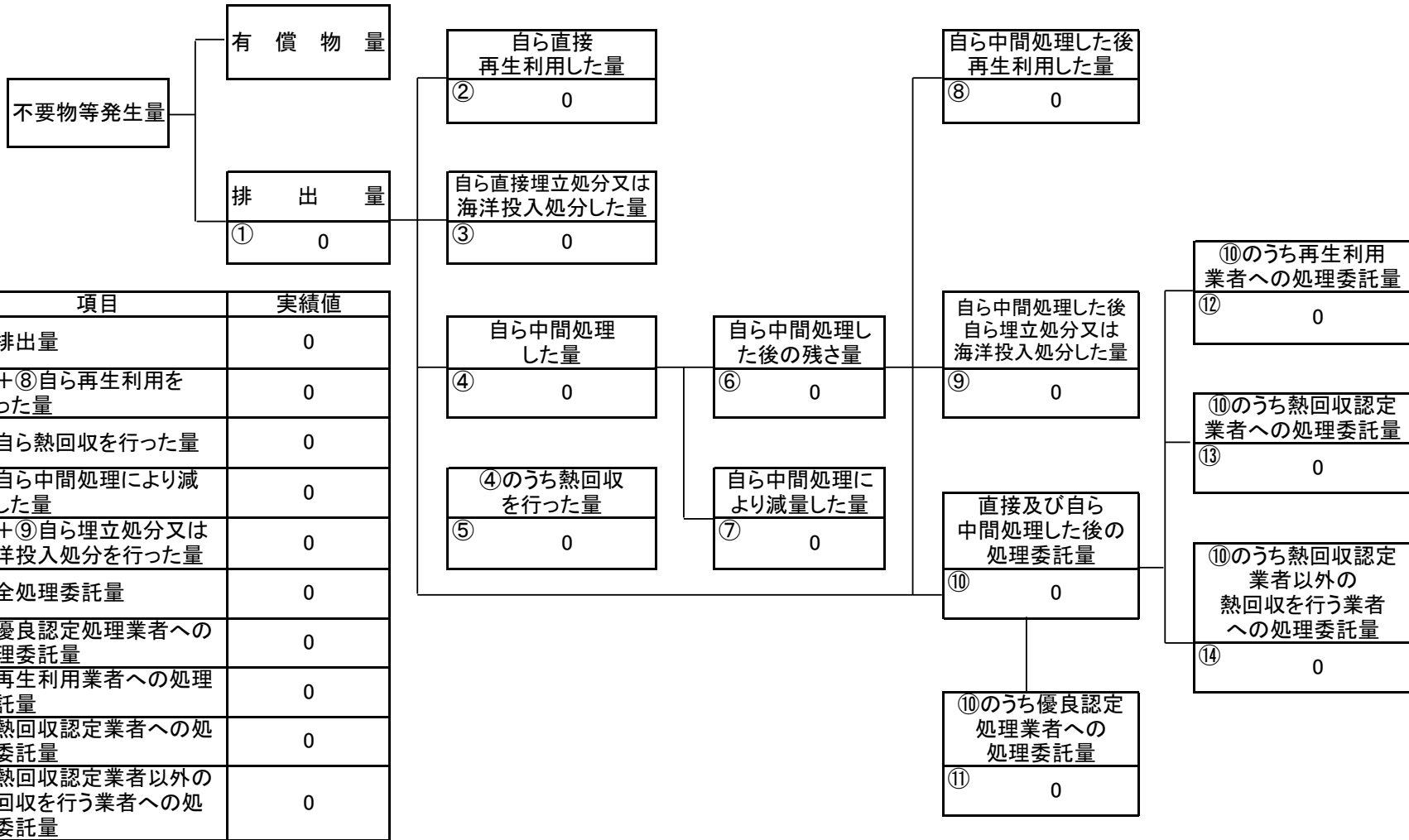
(※2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃酸)



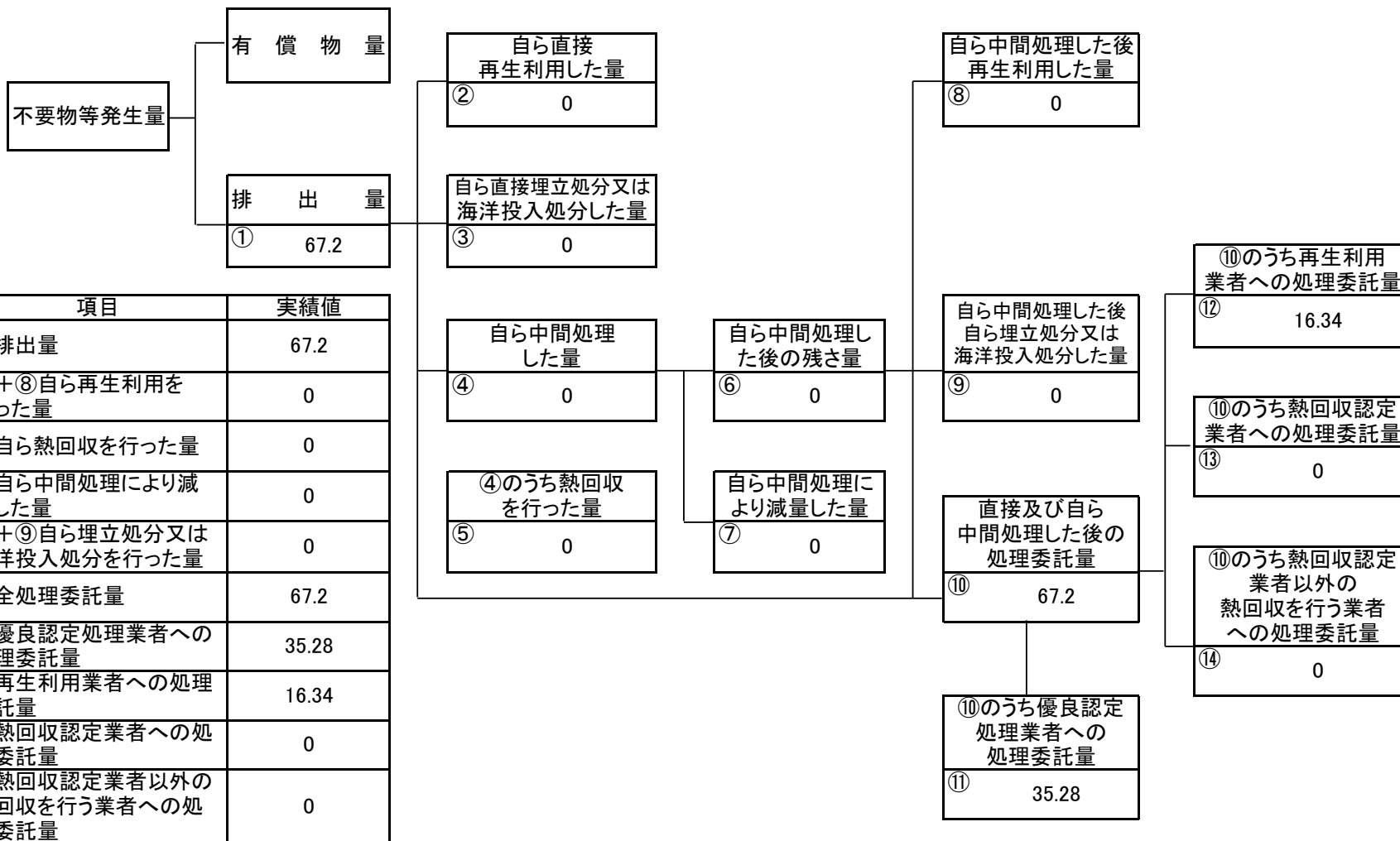
項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)



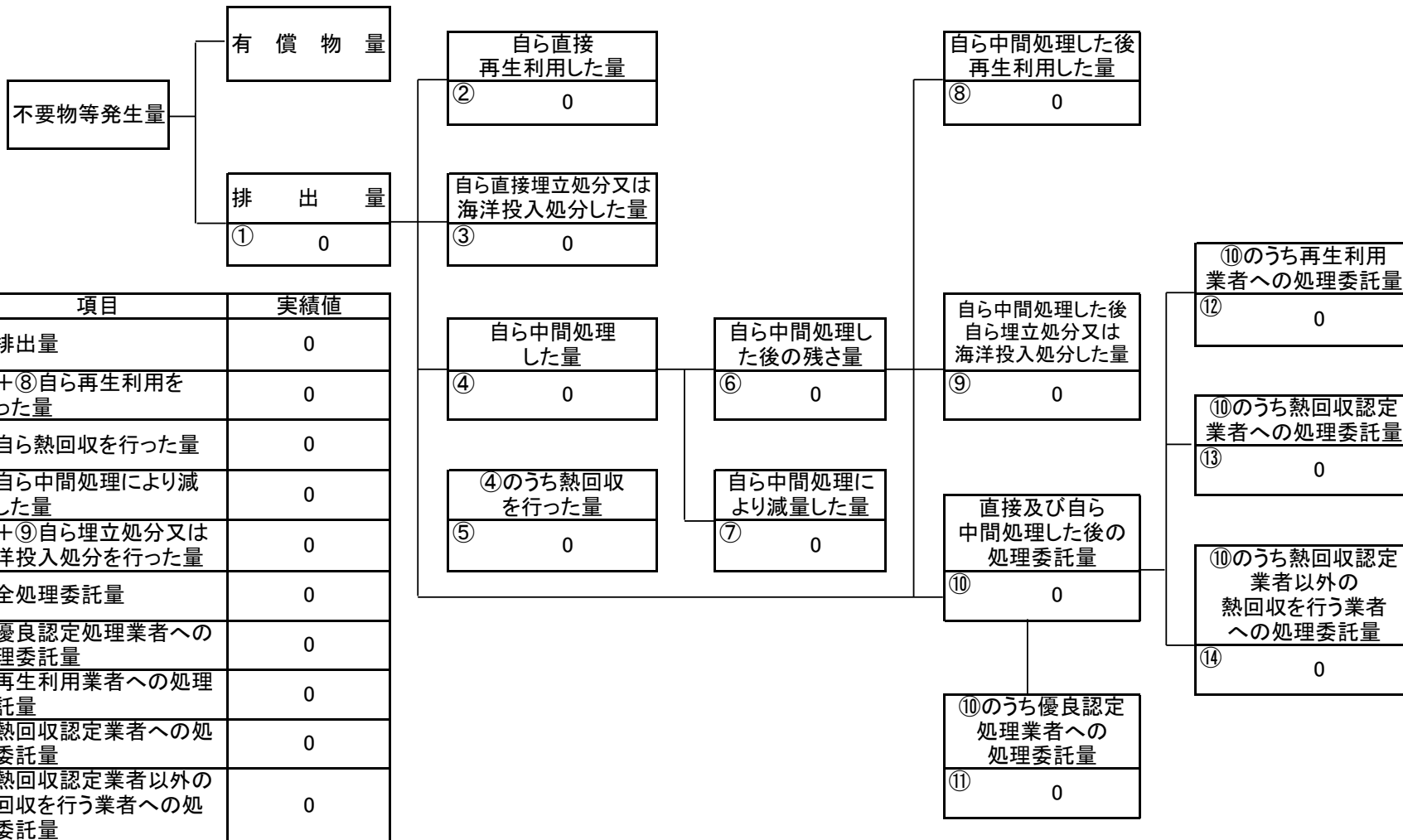


計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

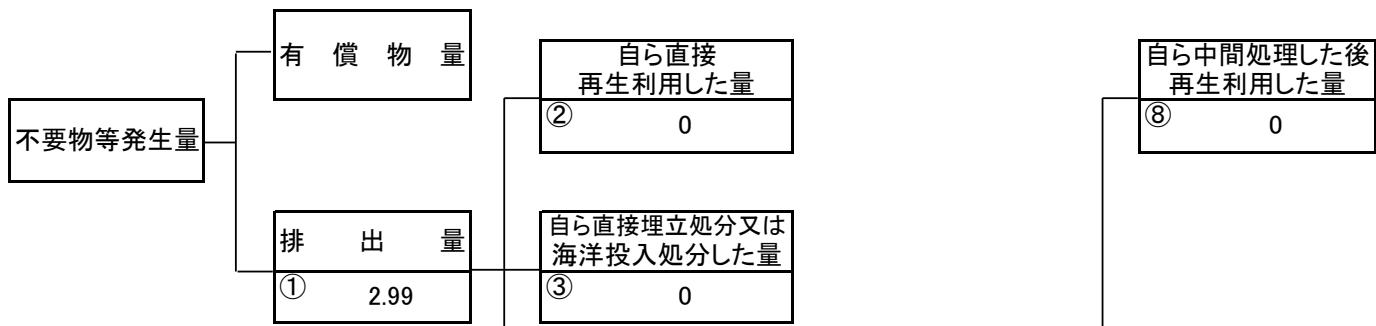


項目	実績値
①排出量	67.2
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	67.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	35.28
⑫再生利用業者への処理委託量	16.34
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 紙くず)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 木くず)

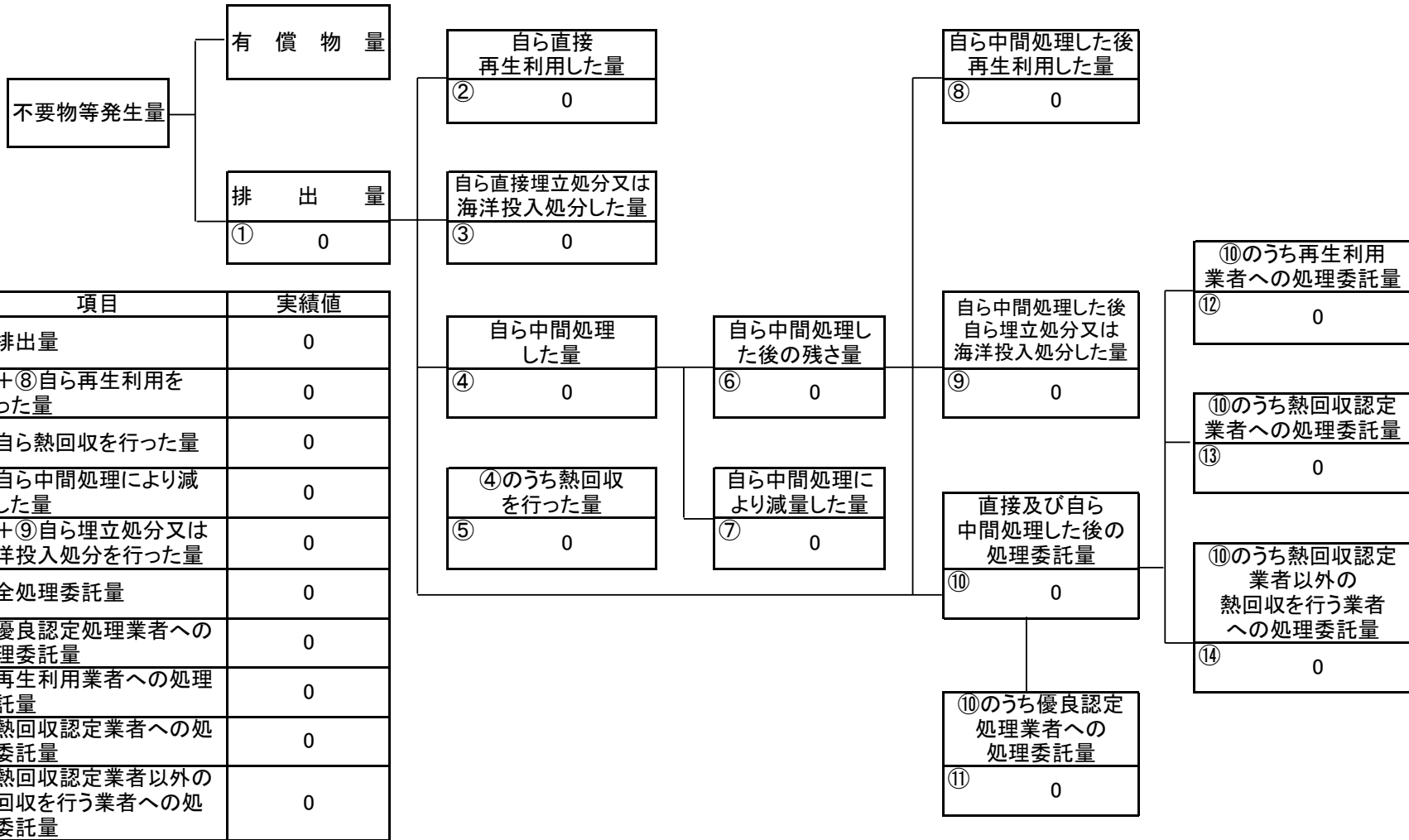


項目	実績値
①排出量	2.99
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2.99
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

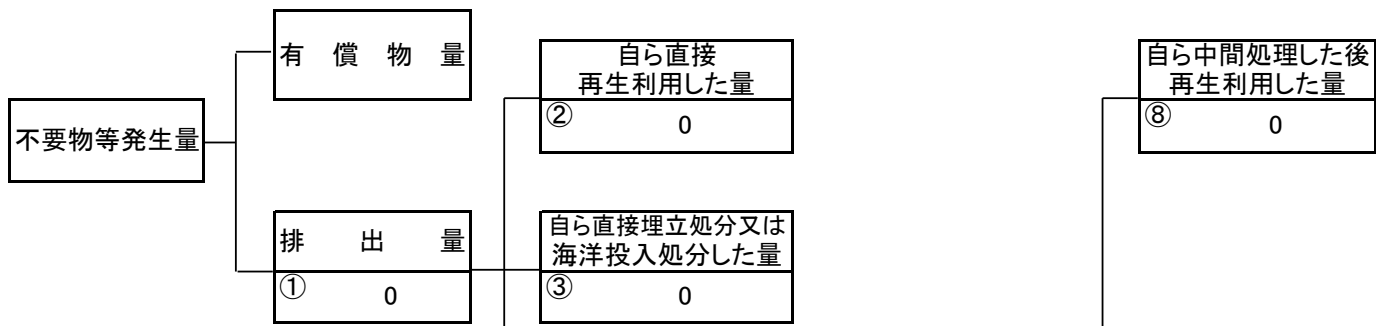
⑩のうち再生利用者への処理委託量	⑫	0
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬	0
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭	0

(※2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 繊維くず)



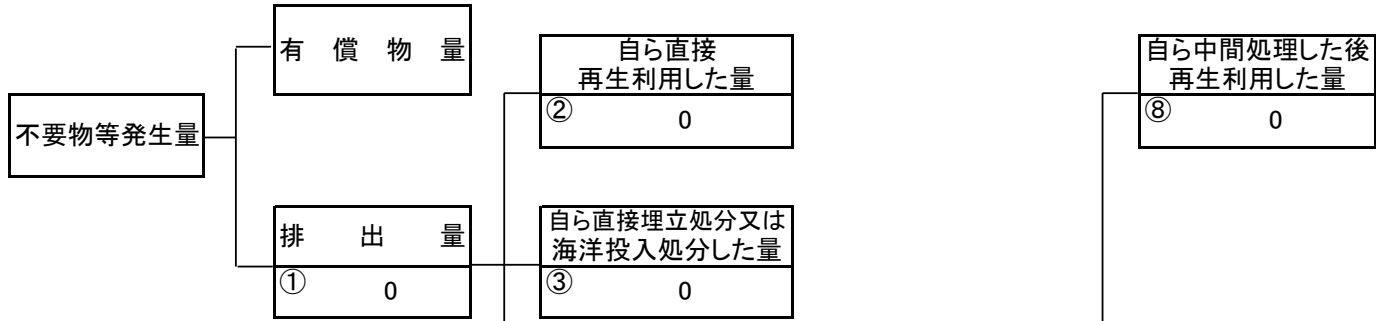
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 動植物性残さ)



項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

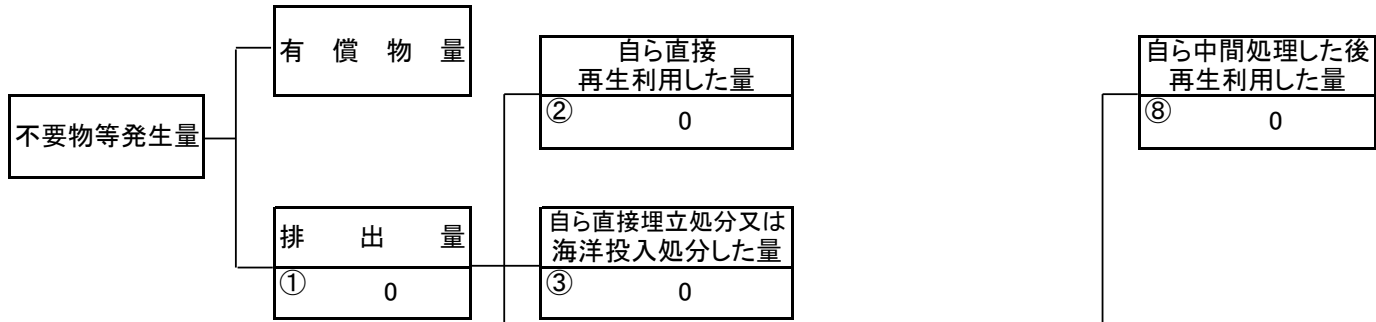
(※2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 動物系固形不要物)



項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: ゴムくず)

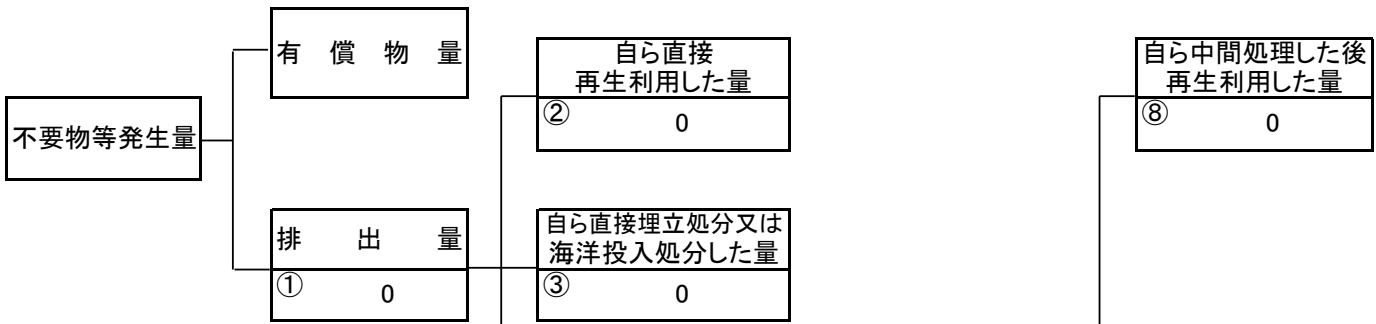


項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

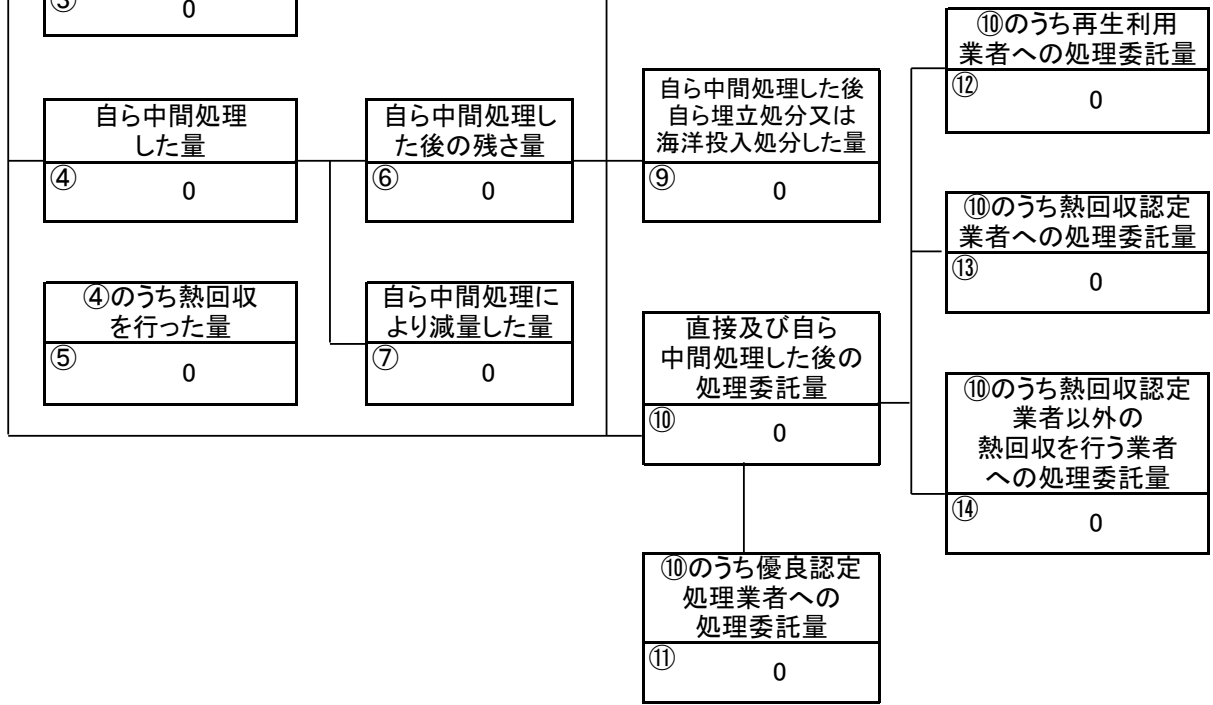
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫	0
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬	0
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭	0

(※2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 金属くず)

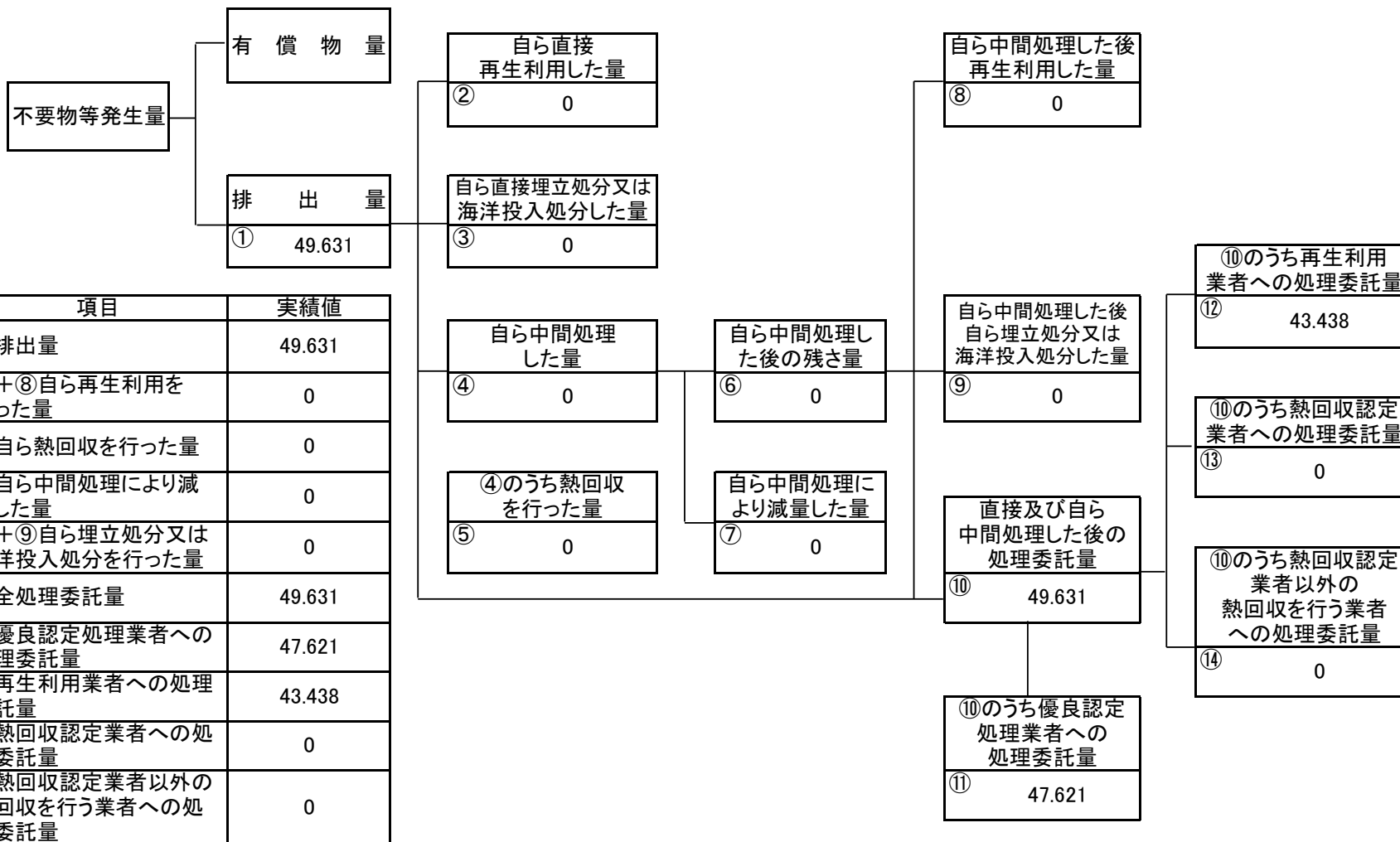


項目	実績値
① 排出量	0
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



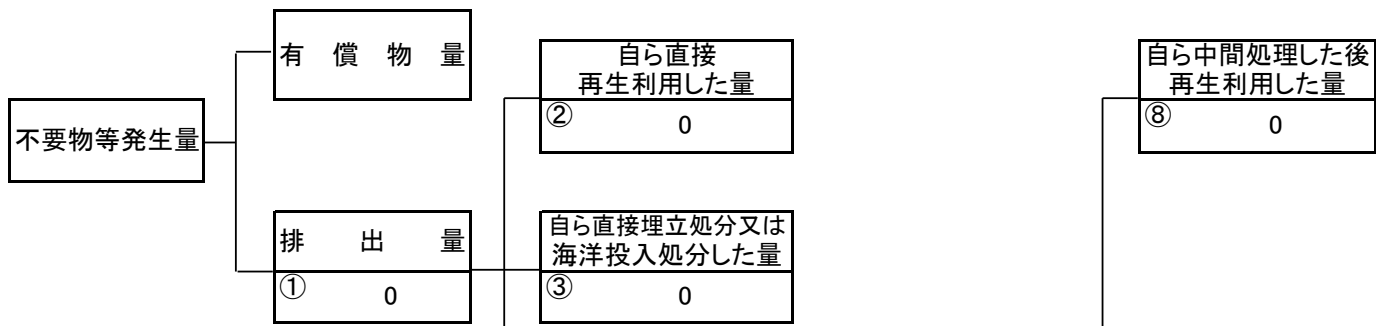


計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず)



(続2面)

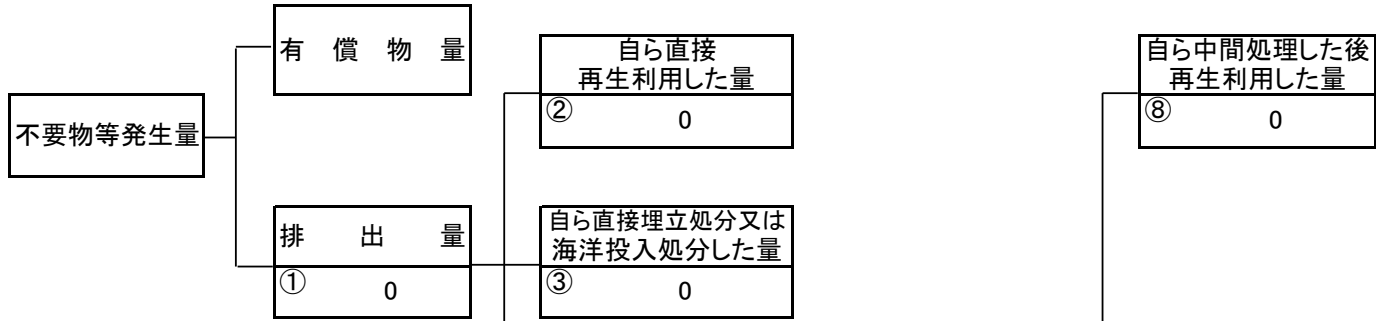
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 鋳さい)



項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(第2面)

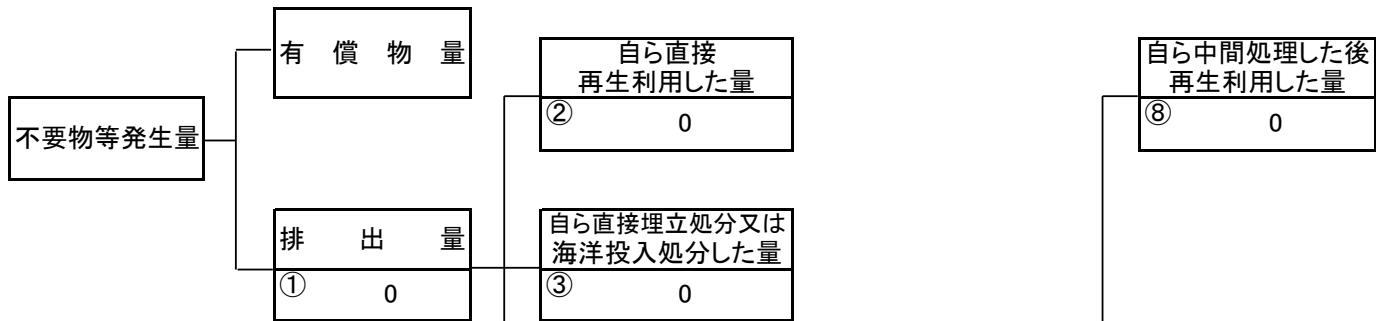
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: がれき類)



項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(第2面)

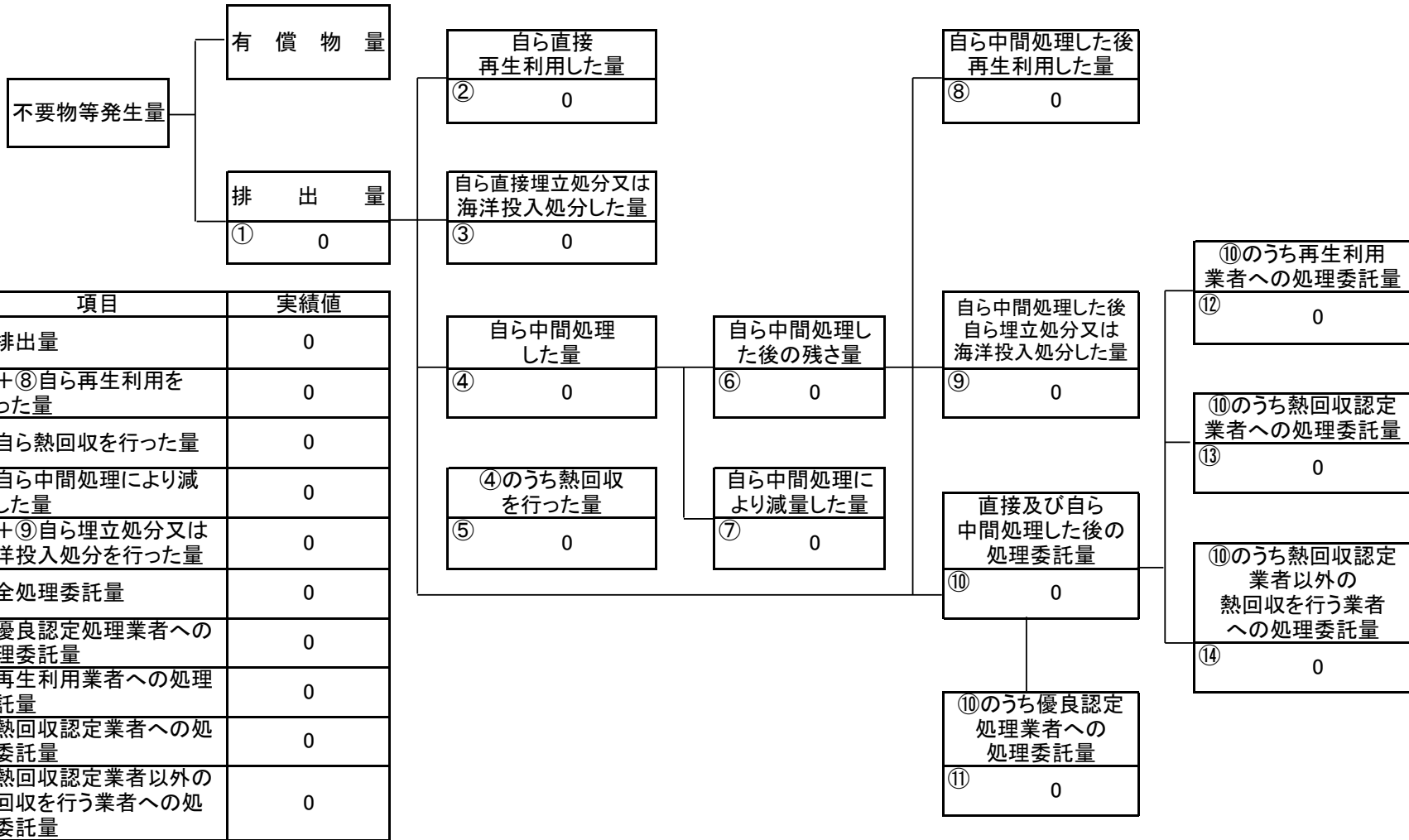
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 動物のふん尿 )



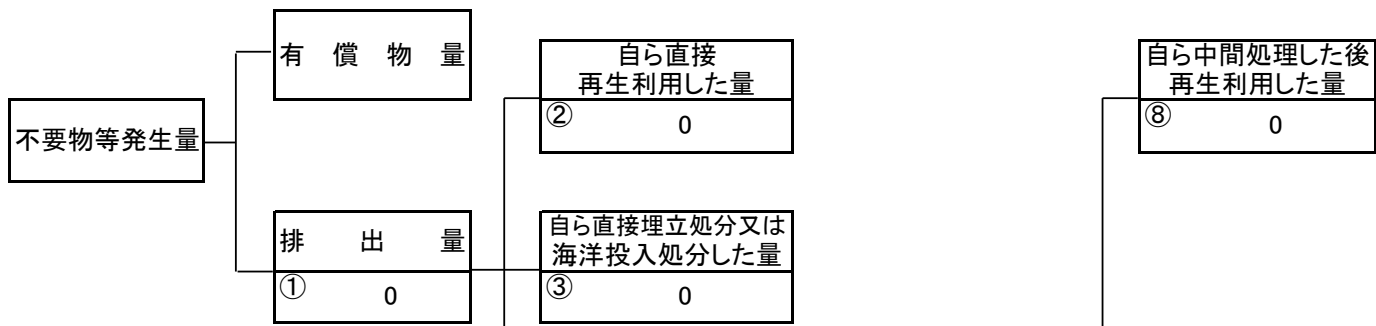
項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(第2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 動物の死体)



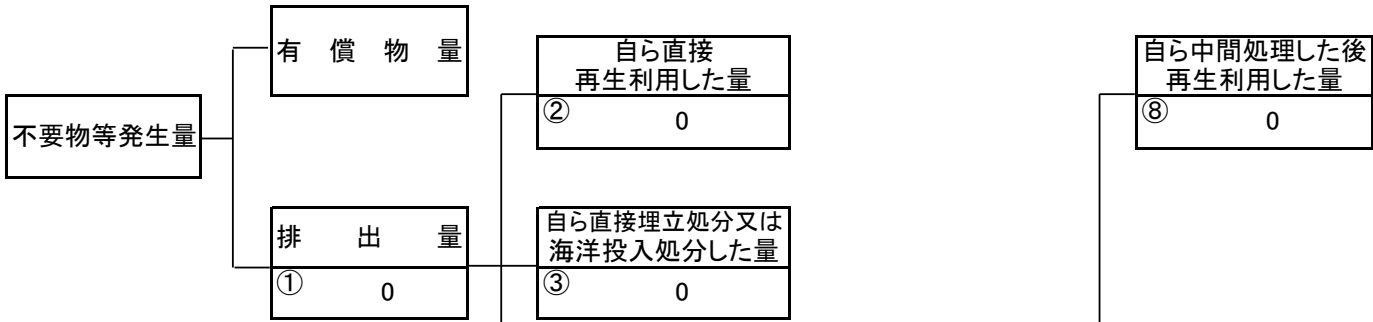
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: ばいじん)



項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(続2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 13号廃棄物)



項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。 □
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。